次世代たたら協創センター常置機器利用要項

(令和3年3月19日 イノベーション創出機構長決裁)

(令和5年9月8日 最終改正)

(目的)

第1条 この要項は、次世代たたら協創センター規程（平成30年島大規則第196号）第14条の規定に基づき、島根大学次世代たたら協創センター（以下「センター」という。）が管理する機器（以下「常置機器」という。）の円滑な運用に関する必要な事項を定める。

(利用資格)

第2条 常置機器を利用できる者は、次世代たたら協創センター棟利用要項第3条に規定する者とする。

(常置機器)

第3条 常置機器は、次世代たたら協創センター棟（以下「NEXTA棟」という。）、総理工学部3号館及び生物資源科学部2号館に設置され、センターが管理するものをいう。

(管理担当教職員)

第4条 常置機器の管理のため、機器ごとにその機器の管理を担当する本学教職員（以下「管理担当教職員」という。）を置く。

2 管理担当教職員は、円滑な運用のための必要な業務を行う。

(利用の申請及び許可)

第5条 常置機器を利用しようとする者は、常置機器利用申請書（様式1）をセンターに提出し、次世代たたら協創センター長（以下「センター長」という。）の許可を得なければならない。

2 当該常置機器の利用希望が特定の日に重複したときは、管理担当教職員が利用日時を調整するものとする。

3 1週間以上の連続利用及び時間外利用を予約するときには、あらかじめ管理担当教職員と協議しなければならない。

(利用の取消し)

第6条 センター長は、常置機器の利用者（以下「利用者」という。）が、この要項及びNEXTA棟利用に関するその他の要項等を遵守しないときは、利用許可を取り消すことができる。

(時間外・休日等の利用)

第7条 原則として、時間外（午後5時から翌日午前9時まで）又は休日等には常置機器の利用を認めない。やむを得ず、時間外又は休日等に常置機器を利用しようとする者は、常置機器時間外・休日利用申請書（様式2）をセンター長に提出し、許可を得なければならない。

(利用者の注意義務)

第8条 利用者は、利用に当たっては、当該機器の取扱説明書等に基づき、誤操作のないよう細心の注意を払わなければならない。

- 2 利用者は、次世代たたら協創センター棟の安全、防災及び環境保全等に関する要項（令和3年3月19日 イノベーション創出機構長決裁）に従い、NEXTA棟の安全、防災、環境保全等に細心の注意を払わなければならない。

(異常発生時の処置)

第9条 利用中に異常が発生したときは、利用者は前条第1項の取扱説明書及び「利用上の注意」等に記載された手順に従い、処置を講じなければならない。

- 2 重大な異常が発生したときは、利用者は速やかに管理担当教職員に連絡し、その指示に従わなければならない。
- 3 異常事態が当該常置機器以外にも及ぶ恐れのあるときは、安全、防災及び環境保全連絡責任者に速やかに連絡しなければならない。

(利用記録)

第10条 利用者は、常置機器利用記録簿に必要事項を記載しなければならない。

(維持・管理)

第11条 常置機器の維持・管理は、管理担当教職員が行う。

- 2 管理担当教職員は、点検整備のため常置機器の供用を一時停止することができる。
- 3 センター長は、管理担当教職員に対し、常置機器の利用状況等に関する報告を求めることができる。

(経費の負担)

第12条 常置機器の利用に係る次の各号に掲げる経費は、利用者が負担しなければならない。

- 一 利用料
- 二 利用に係る光熱水料費
- 三 定期点検に要する経費
- 四 記録紙等の消耗品費
- 五 長時間の利用による性能低下に伴う部品交換等に要する経費
- 六 誤操作による損傷等の修理経費
- 七 常置機器の利用に係る技術指導に係る経費

- 2 前項第一号から第五号に掲げる経費及び第7号に掲げる経費は、別表に定める額とする。
- 3 第一項の規定に関わらず、次世代たたら協創センター長（以下「センター長」という。）が特に認めるときは、利用料等の額の全部又は一部を免除することができる。

(納付の方法)

第13条 センターに所属する教職員以外の教職員の利用に係る利用料等の納付は、経費の振替により行うものとする。

- 2 学外の者の利用に係る利用料等の納付は、本学が発行する請求書に基づき、本学が指定

する日までに支払わなければならない。

(経費の帰属)

第14条 経費は、島根大学次世代たたら協創センター棟の活動の充実のために利用するものとする。

(貸出し)

第15条 共同研究等の遂行のためセンター長がやむを得ないと認める特別の場合を除き、常置機器のNEXTA棟外への貸出しは行わない。

(損害の弁償)

第16条 やむを得ない事情により利用者に損害が生じた場合であっても、センター及び本学はその責を負わない。

(秘密の保持等)

第17条 学外の利用者は、機器利用の際に知り得た相手方の情報、知的財産等を相手方の書面による同意なしに公開してはならない。

(データの取り扱い等)

第18条 センター及び本学は、機器の利用条件について保証するが、得られたデータの品質を保証するものではない。

2 学外の利用者による測定・解析データの取扱いに関し留意すべき事項等を以下のとおり定める。

(1) 依頼分析終了後のデータについては、データの漏洩等の防止のため、利用終了後、分析担当者が責任を持って速やかに復元不可能な状態に消去するものとする。

(2) 測定後のデータを持ち帰る場合は、管理担当教職員が許可した記録メディアを利用すること。また、測定データを記録メディアに保存後、原本のデータは削除すること。

(3) 研究棟では、データの漏洩等のリスクに対して、合理的かつ厳正な安全対策を講じているところであり、センターの責に帰すべからざる事由を原因とするデータの漏洩等に関しては、センターでは責任を負いかねること。

3 学外の利用者が、データを公表する時は、いかなる場合においてもセンター名及び島根大学名を利用することはできない。

4 これに反して、センター名及び島根大学名を利用してデータを外部へ公表したことにより、センター及び本学が受けた被害及び損害については、利用者及びその会社が責任を負うものとする。

(その他)

第19条 この要項に定めるもののほか、常置機器の利用に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

この要項は、令和3年4月1日から実施する。

附 則 (令和4年12月12日一部改正)

この要項は、令和4年12月12日から実施する。

附 則（令和5年9月8日一部改正）

この要項は、令和5年9月8日から実施する。

別表

1. 次世代たたら協創センター常置機器利用要項第12条第一項第一号から第五号に掲げる経費は下記の額とする。

機器名称	利用料 (円/時間)
マイクロビッカース硬度計	900
全自動多目的X線回折装置	3,600
赤外集光加熱超高温観察ハイレットレーザー顕微鏡	2,200
卓上電子顕微鏡・エネルギー分散型X線分析装置	1,100
高速度カメラシステム	1,700
硬さ試験機	300
プレス機	4,000
ハイスピードカメラ	3,900
真空凝固シミュレーター	4,700
動的疲労試験機	5,900
電子線マイクロアナライザ	17,800
走査型白色干渉顕微鏡	3,700
ズームマイクロ스코ープ	100
島津研究用真空焼結炉	10,200
自動研磨装置	700
アモルファスリボン切断機	2,300
複合ビーム観察装置	14,800
ショットキー電界放出形走査電子顕微鏡	4,400
IN-Situ SEM/FIB内ナノメカニカル評価装置	6,800
無磁場透過型電子顕微鏡	25,500

※ 利用料には消費税が含まれます。

2. 同条第一項第7号に掲げる経費は下記の額とする。

機器の利用方法等について本学教職員による技術指導が必要な場合には、1時間あたり
4,200円

(様式1)

決 裁			受 付
課長	室	管理担当教員	

常置機器利用申請書

令和 年 月 日

島根大学次世代たたら協創センター長 殿

申請者氏名 _____ 印

(※利用者が 学生の場合は、指導教員
民間等共同研究員の場合は、受入教員
グループの場合は、代表者)

所 属 _____

電話番号 () _____

FAX番号 _____

電子メール _____

次世代たたら協創センターの常置機器を下記のとおり利用したく、申請します。

記

		受付番号	第	号
利用機器名				
利用期間	(原則として年度を超えた申請は出来ません。 年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分まで			
利用場所				
利用責任者		利用人数	人	
利用目的	(具体的に記述してください)			
利用内容	(具体的に記述してください)			
可燃性ガス，危険 薬品等利用の有 無	有 (以下の項目を記入してください) ・ 無			
	利用物質名		数量	
	利用目的	(具体的に記述してください)		
	利用期間	年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分まで		
	利用場所			

(様式2)

決 裁		受 付
課長	室	

常置機器時間外・休日利用申請書

令和 年 月 日

島根大学次世代たたら協創センター長 殿

申請者氏名 _____ 印

(※利用者が 学生の場合は、指導教員
民間等共同研究員の場合は、受入教員
グループの場合は、代表者)

所 属 _____

電話番号 _____

FAX番号 _____

電子メール _____

次世代たたら協創センターの常置機器の時間外・休日利用を申請します。

理 由	(具体的に記述してください。)
室 名	
利用機器	
区 分	☐ 時間外利用 ☐ 休日利用
期 間	長期利用 (原則として年度を超えた申請は出来ません。) 令和 年 月 日 から 令和 年 月 日
	短期利用 令和 年 月 日 時 から 時